

によって平成 19 年から上昇傾向であった通行量増はストップがかかったといえるが、雨天という悪条件の結果でもあり次年度以降の調査結果を待ちたいところである。

◆ 市内最大の通行量地点は東向商店街で

昭和 52 年から変わらず中心

奈良市中心市街地内の 13 地点の計測地点別では、第 1 位「東向商店街」16,587 人、第 2 位「小西通り商店街」14,130 人、第 3 位「橋本商親会」11,016 人であり、以下「三条ショッピングモール旧ダイエー前」9,883 人、「三条ショッピングモール観光センター前」8,981 人、「もちいどのセンター街」8,465 人となり、この順位は、昨年と全く変わらず、また、第 1 位の東向商店街は、調査開始時の昭和 52 年から一貫して第 1 位の座にあることから、奈良市の中心市街地の商業地形は殆ど変化がなく推移していると判断される。

◆ 中心部から周縁部まで幅広く広がる

面的拡大が続いている

このように東向商店街、小西通り商店街が中核をなす市内中心商業地域であるが、詳細に見るとわずかながら変化が起こっている。9 地点の集中度を見ると、東向商店街 20.8%（平成 10 年 20.2%）、小西通り商店街 17.7%（同 13.4%）、橋本商親会 13.8%（同 14.5%）と大きな変化はないが、周縁部の下御門商店街 5.1%（同 2.9%）、もちいどのセンター街 10.6%（同 9.9%）など増加している。また、東向北町商店街や花芝商店街なども増加している。

つまり、全体的に市内の商業地域は面的に緩やかに拡大をしているということであり、商業地域としては好ましい傾向が続いているとみられる。

◆ ならまちの活性化とともにもちいどのセンター街、下御門商店街の賑わい化が進んでいる

数年前から注目された中心市街地の南側に広がるもちいどのセンター街、下御門商店街は雨の影響を最も受ける環境化にありながら、大幅な減少

は見られず、変わらず通行量の増加が続いているものと思われる。

この背景は、ならまちの賑わい化であり、ならまちへの経路にあたる両商店街の通行量増に結びついている。

しかしながら、昨年から始めたならまちの調査では、調査 2 地点では、いずれも 2,300 人レベルであり、まだまだ低い水準にあり今後の動向が注目される。

ただ、ならまちの賑わい化とは別に、もちいどのセンター街のチャレンジショップの開設やこれらを契機としての商店街のテナントリーシングの活発化など商店街の活性化、活性化の要因もあるなど地域の賑わい化が推進されている結果としても注目される。



◆ 燈花会にリードされる市内通行量

このように健闘する奈良市内の通行量であるが、商業地域の活性化がそれらの要因とは片づけられない。今回の調査でも時間帯別調査結果にそのことが良く表れている。

昨年より大幅に減少した時間帯を見ると午後 5～6 時台が圧倒的に多くを占めている。

つまり、通行量減少の多くは夕刻から始まる燈花会の鑑賞客であり、雨によってその動員が大きく減少したことによる通行量減であったということ。

燈花会がなければ、どうだったかを考えると、このような集客イベントを契機として商業地域として魅力あるまちづくりへの挑戦が期待される。

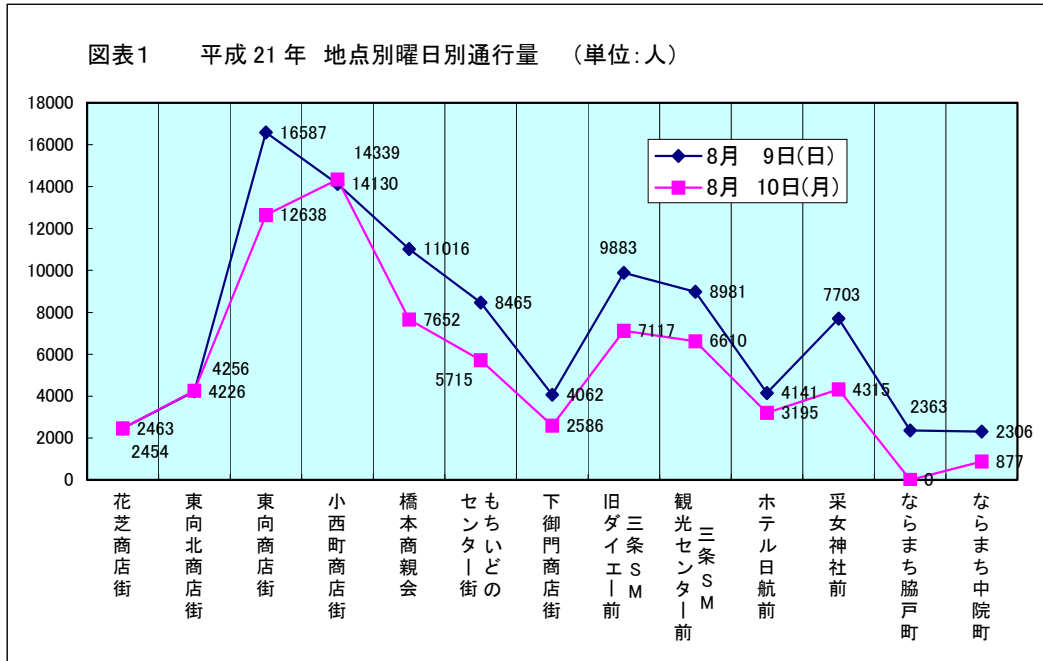
◆ 今年度から平日調査が再開、

商店街の性格や市街地の課題がより明確に

今年から6年ぶりに平日調査が復活した。平成16年から中断されていた平日調査が再び実施されたことは商業地の変動を見る意味でも極めて意義は大きい。今回の調査によって改めて、日曜型街区の特色などが明らかになるとともに、東向北町商店街や花芝商店街の文教・業務地域の特徴な

どが明らかになった。

また、過去の調査時と比較して平日通行量の減少も予測され、中心市街地内の昼間人口の減少など業務機能の空洞化なども懸念されることとなった。いずれにしても雨天の問題や6年ぶりの調査など不確定な要素も多いため、次年度以降の調査結果を待ちたい。



図表2 地点別年度別通行量の推移(日曜日・平日別)

		昭52年		平3年		平10年		平18年		平19年		平20年		平21年	
		実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数	実数	指数
花芝商店街 (プラザ花芝前)	日	3,351	100	2,795	83.4	2,622	78.2	-	-	2,893	86.3	2,255	67.3	2,463	73.5
	月	3,929	100	3,289	83.7	3,384	86.1							2,454	62.5
東向北商店街 (旧川井薬局前)	日	7,018	100	5,486	78.2	4,467	63.7	3,479	49.6	4,926	70.2	4,477	63.8	4,226	60.2
	月	7,382	100	6,832	92.5	6,131	83.1							4,256	57.7
東向商店街 (経済会館前)	日	22,536	100	23,298	103.4	18,451	81.9	18,009	79.9	17,513	77.7	20,264	89.9	16,587	73.6
	月	17,270	100	18,271	105.8	14,519	84.1							12,638	73.2
小西通商店街 (UFJ銀行前)	日	20,990	100	18,233	86.9	12,256	58.4	14,363	68.4	14,269	68.0	15,309	72.9	14,130	67.3
	月	20,402	100	20,718	101.5	15,109	74.1							14,339	70.3
橋本商親会 (南都銀行南口前)	日	14,671	100	18,633	127.0	13,247	90.3	12,533	85.4	11,882	81.0	13,664	93.1	11,016	75.1
	月	11,378	100	12,820	112.7	9,782	86.0							7,652	67.3
もちいどのセンター街 (マーチャントセンター前)	日	14,308	100	12,969	90.6	9,061	63.3	7,383	51.6	8,394	58.7	9,810	68.6	8,465	59.2
	月	9,517	100	9,182	96.5	7,554	79.4							5,715	60.1
下御門商店街 (光学堂前)	日	3,043	100	3,246	106.7	2,645	86.9	3,420	112.4	3,881	127.5	4,787	157.3	4,062	133.5
	月	2,665	100	2,371	89.0	2,216	83.2							2,586	97.0
三條ショッピングモール (旧ダイエー前)	日	21,856	100	18,125	82.9	17,158	78.5	9,618	44.0	10,160	46.5	11,408	52.2	9,883	45.2
	月	17,311	100	17,156	99.1	16,349	94.4							7,117	41.1
三條ショッピングモール (観光センター前)	日	10,951	100	13,778	125.8	11,324	103.4	9,751	89.0	9,659	88.2	10,903	99.6	8,981	82.0
	月	9,672	100	13,048	134.9	9,796	101.3							6,610	68.3
三條JR奈良駅西 (ホテル日航前)	日											4,566		4,141	
	月												3,195		
三條通猿沢池西 (采女神社前)	日											8,027		7,703	
	月												4,315		
ならまち脇戸町 (中西菓子舗店前)	日											2,830		2,363	
	月												未計測		
ならまち中院町 (地域活性局西側)	日											2,022		2,306	
	月													877	
合計	日	118,724		116,563		91,231		78,556		83,577		110,322		96,326	
	月	99,526		103,687		84,840								71,754	

長崎さるく・させぼ四ヶ町商店街の視察研修に参加

9月28日（月）～29日（火）の2日間に亘り、奈良市中心市街地活性化研究会が実施した長崎さるく・させぼ四ヶ町商店街への視察研修に、商工会議所小売部会と共に事務局員2名が参加しました。

ふだん聞きなれない「さるく」とは、「まちをぶらぶら歩く」という長崎の方言で、長崎市では平成18年に日本で初めてのまち歩き博覧会として「長崎さるく博'06」が開催されました。

「まち全体がパビリオン」・「全てのイベントを市民が企画・実施」・「イベントの大半は翌年以降も継続されることを前提に実施」、一過性の博覧会にとどまらず平成19年度以降も、まち歩き観光「長崎さるく」として継続されています。

今年は、開港150周年を迎え幕末期にスポットをあてた「長崎さるく幕末編」を開催、まち歩きや、幕末・明治期に建てられた洋館でのパネル展などにより、その魅力をアピールされておられました。

その後、(社)長崎国際観光コンベンション協会の長崎通さるくコース「懐かしの街並み～中通り界限～」をガイドさんの説明を聞きながら歩き、町屋造りの古い民家や大正時代の洋館、また老舗の専門店などがあり楽しいコースでした。

翌日29日は、長崎市からバスで約1時間半離れている佐世保市へ訪問しました。

佐世保市は平成14年に市制百周年を迎えられ戦前は日本海軍の軍港として、戦後は造船や炭鉱を中心に発展し、現在は造船等の製造業とともに県北地域の商業・サービス業の中心となっています。



佐世保市の市街地は、山と海に囲まれた天然のコンパクトシティを形成。

このシルバーウィークには高速道路でのETC1,000円を利用して多くの観光客が佐世保バーガーを食べに来られたそうです。

今回の視察研修の最後に、日本一元気な商店街と言われている「させぼ四ヶ町商店街協同組合」の竹本理事長より活性化への取り組みについて説明をいただきました。

「人が集まるところに人は来る」それにはイベント・お祭りということから平成8年から始められた「きらきらフェスティバル」や平成11年から始まった「YOSAKOIさせぼ祭り」を開催。いずれも全国的な来客イベントに成長。

竹本理事長は、イベントが目的でなく街を元気にすることが目的で、人をつないで行くことが大事であると。

街の自慢をどれだけ言えるか、ひとりでも増やせば街は元気になると。

今回の竹本理事長の積極的な取り組みを始め、長崎さるくなど、これからの奈良市中心市街地活性化に結びつけて行ければと感じました。